

熊本県立熊本はばたき高等支援学校 生徒喜びの言葉

平成29年4月に、私たちは熊本支援学校高等部東町分教室に入学しました。入学してすぐは、慣れない学校生活に不安や戸惑いもありました。しかし、すぐに友達や先輩と仲良くなり、学校に通う毎日が楽しくなりました。私たちは、熊本支援学校高等部東町分教室が大好きになりました。

2年生の1学期に、「熊本はばたき高等支援学校」の開校と、新しい校舎ができること、私たちは新しい学校に移ることを聞きました。学校ができる喜びと、思い出のある分教室がなくなる寂しさ、友達が増える期待と、うまくやっていけるだろうかという不安を感じました。

この頃から、大きな建設機械が運ばれて、新校舎の工事が始まりました。来年の秋には新校舎が完成することを聞いて、工事が進むのを毎日楽しみに見っていました。

平成31年4月に「熊本はばたき高等支援学校」が開校して、72名の新入生を迎えました。たくさんの1年生との給食はにぎやかでしたし、昼休みのサッカーなど楽しい時間も増えました。そして、5月には、「はばたき体育祭」をみんなの力で成功させることができました。しかし、それぞれの教室は離れていたの、日頃からの交流が深まらないもどかしさもありました。

2学期になり、私たちは現場実習に臨みました。3週間の現場実習を終えて学校に戻ると、掛けられていたシートが取り除かれて、校舎が完成していました。その大きさと、たくさんの部屋に驚きました。

新校舎は明るくてきれいです。外は寒くても、教室は暖かです。それに、周りの音があまり聞こえず静かです。騒ぎたい人も、うるさいのが苦手な人もいるので、それぞれに助かると思います。作業室が広くてすごいです。やる気が出ます。図書室があります。たくさんの本がそろって、みんなが集まれる場所になるといいなと思っています。

このように、熊本はばたき高等支援学校の3年生として、開校と新校舎完成の時を過ごせることは幸せです。私たちがこの学校で学ぶのはあと半年もありませんが、3月までにたくさんの思い出を作り、宝物にしたいと思います。

その一つは、1年生の皆さんともっと仲良くなることです。教室が離れていた間は、交流も限られていましたが、今は一つの校舎で学んでいます。そこには、みんなで集まることができる学年ラウンジがあります。一緒に思いきり身体を動かせる体育館もあります。そこで、一緒にゲームをしたり、クラスマッチを計画したりしたいと思います。そして、熊本はばたき高等支援に受け継がれた東町分教室の心を、皆さんにつなぎたいと思います。みんなでつながることができると、学校がもっと楽しくなります。

この学校ができるまでには、たくさんの方々のご苦勞があったことを聞いています。校舎の工事では、暑い日も寒い日も、雨の日も風の日も、たくさんの方々がおられました。鉄筋溶接の様子を見せていただいた際には、うまく溶接ができるまでに、数えきれないくらい練習したことを伺いました。私たちは、この学校で学ぶことができ、幸せです。

私たちに素晴らしい学校を作ってください、ありがとうございます。

社会にはばたく力を身に付けるように、しっかり学びたいと思います。